



原木市場に並ぶ東濃産優良材



GISにより記録した白川町の材積分布図



林業成長産業化地域創出モデル事業 ⑫

岐卓東白川・白川・東白川地域

# 『地産都消』を目指して

生産・流通改革への挑戦

## 1 現況

中津川・白川・東白川地域は、岐卓東部に位置する中津川市、白川町、東白川町の3市町村で構成されています。当該地域の面積は約10万haで、うち

森林は8万3千haあり、民有林の人工林率は62%と高く、人工林蓄積の79%をヒノキが占めています。

当該地域は、古くから林業が盛んに営まれ、確かな育林技術、製材技術により生産される銘柄材「東濃産」の産地であり、東濃産で建てられる「産直住宅」は、優れた大工職人の技と相まって、県内はもとより全国で高い評価を受けています。

しかし、住宅における建築様式の変



森林資源情報研修会の様子



令和元年度協議会総会の様子



イベント用木柵「ki-saku」

化により「東濃産」を含めヒノキの需要が減少し、需要の確保に苦戦を強いられるケースが増えるなど、当該地域の林業・木材産業は厳しい現状に立たされています。

そのような中、東濃産の「地産都消」を目指し3市町村が一つになって、林業成長産業化地域創出モデル事業に取り組むこととしました。生産・流通改革への挑戦として、林業成長産業化地域構想を策定し、平成29年7月に中津川・白川・東白川地域林業成長産業化推進協議会を設立しました。会員は林業・木材・建築等関係企業及び団体の32者で、国有林や研究機関など11団体がオブザーバー会員となっています。

の蓄積や需要情報の把握に努めることにより、生産量の拡大や物流の効率化を進め生産コストの低減を図ります。



国際ホテルレストランショーの様子

## 2 林業成長産業化に向けた取組

### ① 木材生産拡大対策

ICT等を活用して正確な資源情報

② 加工流通効率化対策  
マーケット・インの発想を強化し、市場に受け入れられる高品質でデザイン性に優れ、特殊加工等のニーズに応えた製品を安定的に供給する体制を構築します。

### ③ 製品販路拡大対策

WEBカタログ等の作成、非住宅分野における木材活用の促進、大都市圏海外等での販路拡大対策を強化します。

### ④ 次世代の森林づくり対策

木材生産に必要な持続的な森林づく



りや森林資源の循環利用のため、主伐に伴う再造林対策や国有林との連携を強化します。

### 3 これまでと今後の取組内容

#### ①木材生産拡大対策

森林資源の「在庫管理」を進めるため、航空レーザーによる高精度森林データ解析データとGISシステムを導入（白川町地域）し、システムの利用向上のための操作研修及び地域の林業ICT化に向けた研修会を開催しました。今後は、現場からの要望にこたえ路網計画支援システムの研修会やシステム導入の検討を実施し、会員の知識と技術の向上を図っていきます。

#### ②加工流通効率化対策

木材加工分野の製品等の情報発信のため、製材工場及び加工施設等の加工技術や製品のデータベース化とワーキング会議の開催により中小規模の製材工場の連携を図り、多様化する市場ニーズにフレキシブルに対応できる体制づくりに取り組めます。

#### ③製品販路拡大対策

東濃産製品のPR活動として、首都圏における住宅フェアや木材製品展示会等への出展を行いました。

また、都市圏での販路拡大と新たな需要創出を目指して、公益社団法人

国際観光施設協会の会員を当地域に招き、東濃産の現状やブランドのあり方、ライフスタイルへの提案などについてワークショップを行うとともに、国際観光施設協会から提案のあったイベント用木柵「E-SAKU」を製作しました。今後は引き続き東濃産製品の首都圏

### 4 終わりに

地域の先輩方が植えて育てた多くの

等でのPR活動を行うとともに、「E-SAKU」のイベントや施設等での利用に向けて取り組みます。

森林資源を地域の高い施工及び加工等の技術力によってヒノキ材の良さを活かすことで地域が潤い、林業・木材産業が発展し地域の成長産業となることにつながるよう取り組みを進めていきます。

